

昔おきなわ風景探索

沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真

1945 年 6 月

Q. どこでしょうか？

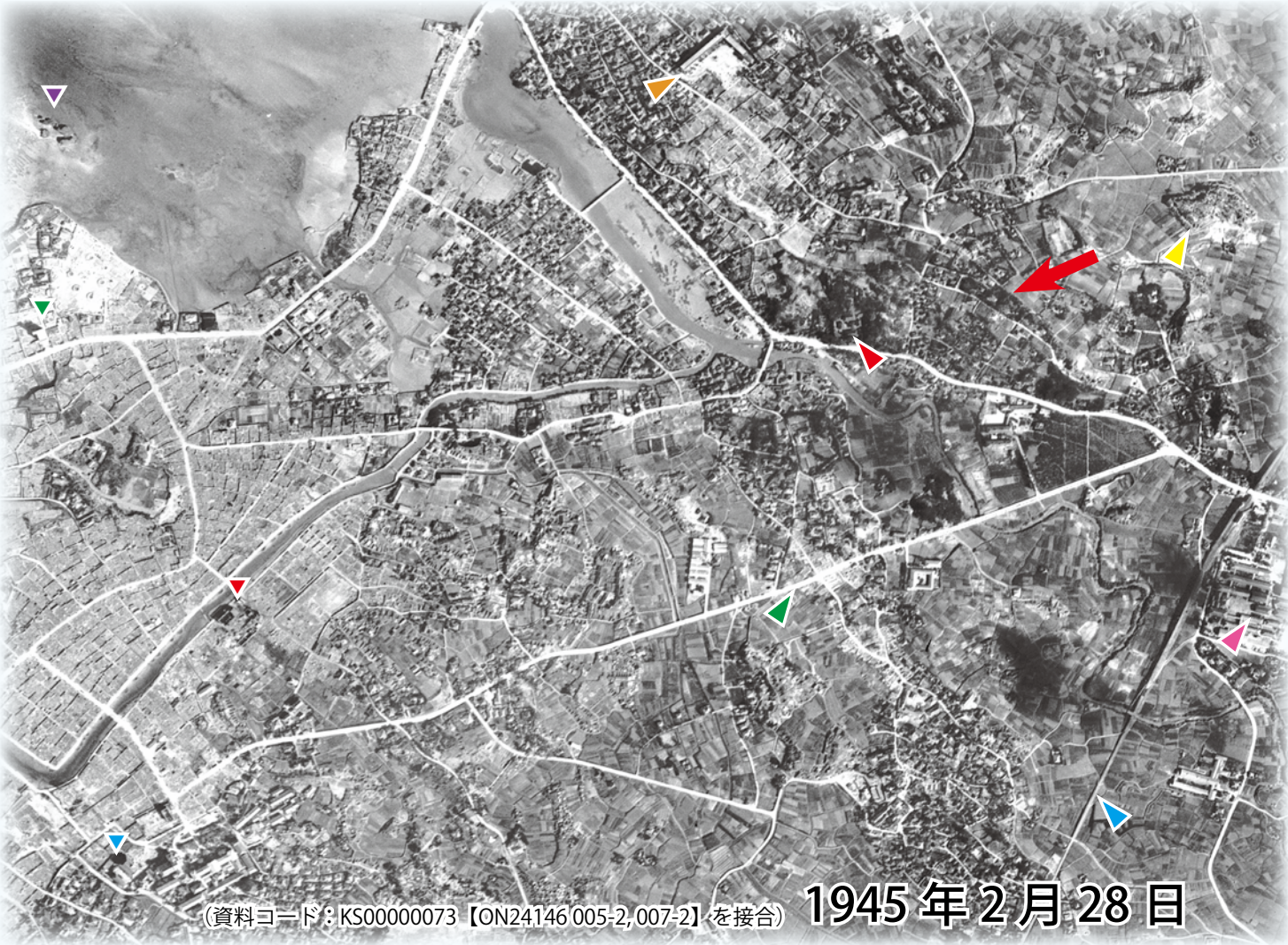


地図を表示

(写真番号: 91-30-1 をカラー処理)

資料映中鑑准 V

写真手前は崇元寺の裏側にある寺の山*といわれているところです。その後を横切る河川は安里川で、ずっと後方の干潟は埋め立て前の前島付近です。那覇港付近と異なって、家屋がだいぶ残っています。正面の3階建ての建物は戦前の開洋会館*で、まだ形が残っています。シュガーローフ・ヒルの西側の高台から撮影したと思われます。



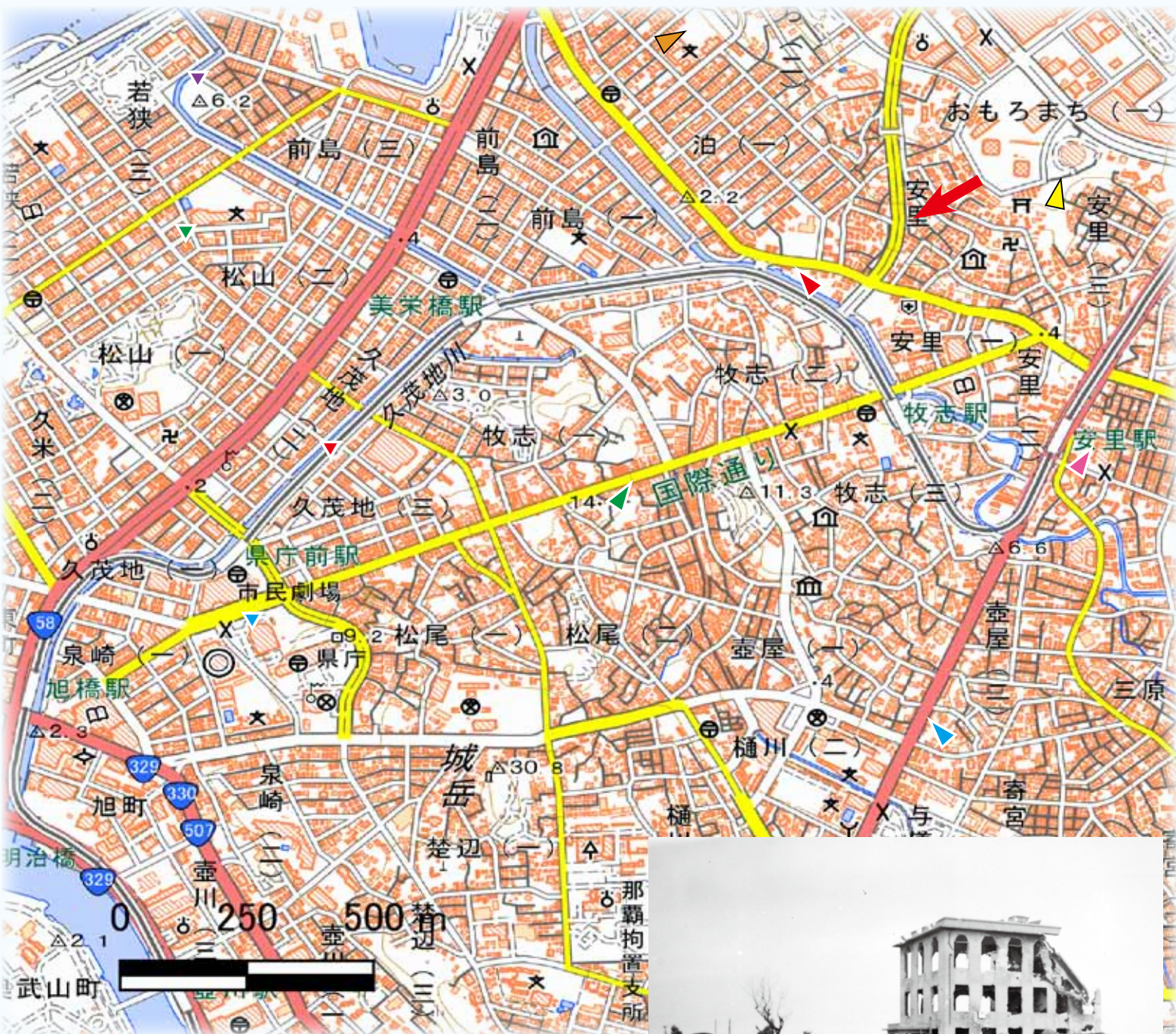
表紙で示された泊、前島、牧志付近を米軍上陸前の那覇市の空中写真（1945年2月）からみてみます。表紙の写真は赤矢印の方向から撮影したものと思われます。▲は泊国民学校、●シュガーローフ・ヒル、▲崇元寺、▲沖縄師範学校女子部・沖縄県立第一高等女学校、▲現在の国際通り、▲軽便鉄道軌道です。▼はミートウジー（夫婦岩／夫婦瀬）**、▼開洋会館、▼電気会社、▼武徳殿になります。



写真② 泊付近を俯瞰した斜め写真で、地形のようすがわかります。安里三叉路から首里に抜ける道路が軽便鉄道軌道の下を通っているのがみえます。米軍上陸後ですが、まだ泊付近には侵攻していないようで、古い風景が残っています。それぞれの三角の地点は、左頁と同じです。▲は安里国民学校で、現在の沖縄県立博物館・美術館付近になります。表紙を含め、写真①は赤矢印付近から撮影したと考えられます。（1945年4月2日）（資料コード：0000256131）



写真① この写真は4枚の写真をつなぎ合わせたものです。遠景をみると▼武徳殿、▼電気会社、▼開洋会館、▼ミートウジー（夫婦岩／夫婦瀬）が確認されます。中央の松林の丘は崇元寺の裏側になっているようです。写真左側は、本リーフレット No.12 のパノラマ写真と連続しています。（1945年6月）（写真番号：92-03-1, 91-36-2, 91-12-2, 91-34-3 を接合）[91-12-2, 91-34-3 は日付が明記されていませんが他と同じ6月として扱いました]



前頁の矢印の位置を現在の地図（国土地理院）に落としてみました。地図上の矢印や三角印は空中写真とほぼ同じ位置になります。写真③は地図上の那覇中学校の近く、▼付近にあった開洋会館です。



写真③ ▼付近にあった開洋会館の建物。（1945年5月29日）
（写真番号：72-33-3）

注 * 那覇市史 1979『那覇の歴史民俗地図』

** 「角川日本地名大辞典」編纂委員会 1986『角川日本地名大辞典 47 沖縄県』

昔おきなわ風景探索 No. 16

発行日：令和7年（2025）10月25日

編集執筆：当山昌直（1951年生）

発行：（公財）沖縄県文化芸術振興会 公文書管理課

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川 148-3 沖縄県公文書館内

電話（代表）098-888-3875 FAX: 098-888-3879

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

